

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2029年6月20日まで（2019年3月4日設定）	
運用方針	外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズーフィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドの円建ての投資信託証券（クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券へも投資します。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）	ブラックロック・グローバル・ファンズーフィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建ておよびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	ブラックロック・グローバル・ファンズーフィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンドークラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て	世界各国の様々な通貨建ての幅広い種類の債券やそれらの派生商品等を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。外貨建資産への投資は行いません。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）」およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

グローバル・インカム・フルコース （為替ヘッジなし）

第1期（決算日：2019年6月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）」は、去る6月20日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
 フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税込み 分配金	騰落 中率				
(設定日)	円	円	%	%	%	%	百万円
2019年3月4日	10,000	—	—	—	—	—	10
1期(2019年6月20日)	9,945	0	△0.6	—	—	98.9	10

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	託証券比率
		騰落率	騰落率				
(設定日)	円	%	%	%	%	%	%
2019年3月4日	10,000	—	—	—	—	—	—
3月末	9,969	△0.3	—	—	—	—	99.5
4月末	10,103	1.0	—	—	—	—	99.6
5月末	9,912	△0.9	—	—	—	—	99.5
(期末)							
2019年6月20日	9,945	△0.6	—	—	—	—	98.9

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

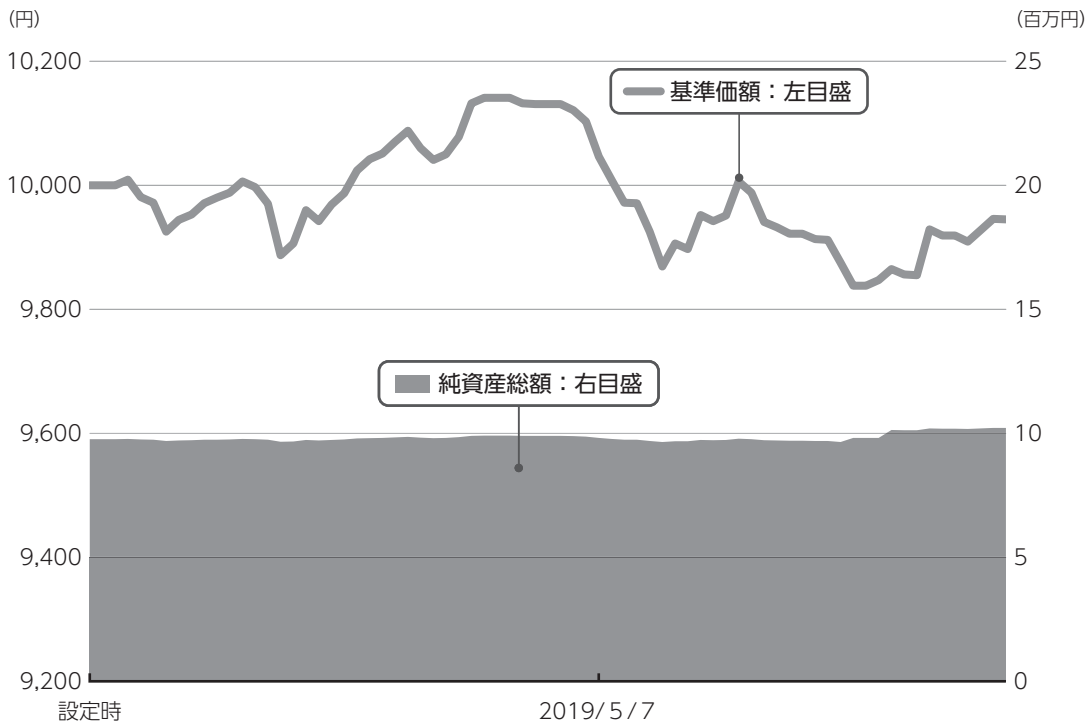
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期：2019年3月4日～2019年6月20日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第1期末	9,945円
既払分配金	0円
騰落率	-0.6%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ0.6%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

米国の債券への積極姿勢や社債の利子収入を獲得したこと

下落要因

米ドルが円に対して下落したこと

第1期：2019年3月4日～2019年6月20日

投資環境について

▶ グローバル投資適格債券市況

設定時からのグローバル投資適格債券市況は上昇しました。

設定時から2019年3月末にかけて主要国の景気減速懸念などを背景に米国などで長期金利が低下する中でグローバル投資適格債券市況は堅調に推移しました。その後、米国や中国の経済指標が市場予想を上回り、一時的に欧米主要国の長期金利が上昇する場面があったものの、2019年5月上旬以降は米中貿易摩擦に対する懸念が高まったことや市場参加者の間で米国の利下げ観測が高まったことなどを背景に欧米主要国の長期金利が大幅に低下したことなどがプラスに寄与し、当期を通じて見ると、グローバル投資適格債券市況は上昇しました。

▶ 為替市況

設定時からの為替市況では米ドルが対円で下落しました。

米中貿易摩擦への懸念の高まりなどを受けて市場参加者のリスク回避姿勢が強まっていることや、米国で利下げ観測が高まっていることなどを背景に米ドルが対円で下落しました。

▶ 国内短期金融市場

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年6月20日のコール・レートは-0.068%となりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）

投資対象ファンドであるブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建てへの投資を通じて、日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ）

の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に分散投資を行い、主として中長期的な値上がり益の獲得及び利子収益の確保をめざす運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

▶ **ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て金利戦略**

米国ではインフレが概ね抑制されていくとの見通しから、米国の債券に対して積極姿勢とした他、米ドルの上昇に一服感

が出ていることや中国の景気刺激策による中国の景気回復のメリットを受けると考えられることから新興国債券に対しても積極姿勢としました。

▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざして運用を行いました。

▶ **当該投資信託のベンチマークとの差異について**

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ **分配金について**

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期 2019年3月4日～2019年6月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	64

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・インカム・フルコース （為替ヘッジなし）

投資対象ファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に分散投資を行い、主として中長期的な値上がり益の獲得及び利子収益の確保をめざす運用を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンド投資信託証券の一部組み入れを行います。

▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て 運用環境の見通し

米国では、貿易摩擦等による景気減速への懸念等を背景に緩和的な政策がとられる可能性が高まっていると見ています。一方欧州では、英国と欧州連合（EU）の関係を巡る不透明感などが続くと見込まれることに加え、イタリアの財政赤字を巡る対立などの問題があります。中国に関しては、景気刺激策により景気が下支えされることへの期待が高まっており、新興国の景気にとってもプラスと見ています。

今後の運用方針

米国で緩和的な政策がとられる可能性が高まっていると見ていることから、米国の債券に対して積極姿勢とする方針です。欧州については、ドイツの債券に対して消極姿勢とする一方、フランスやイタリアの債券に対して積極姿勢とする方針です。また、米ドルの上昇に一服感が出ていることや中国の景気刺激策による中国の景気回復のメリットを受けると考えられることから新興国債券に対しても積極姿勢とする方針です。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド 運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2019年3月4日～2019年6月20日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	18	0.185	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(5)	(0.048)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(13)	(0.129)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.008)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.000)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	18	0.185	

期中の平均基準価額は、9,980円です。

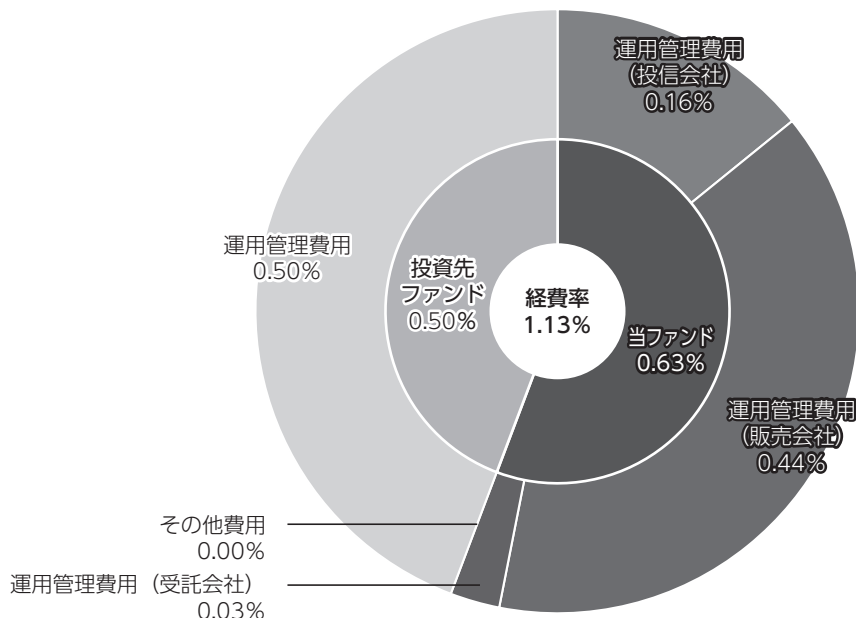
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は1.13%**です。



経費率 (①+②)	(%)	1.13
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.63
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.50

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2019年3月4日～2019年6月20日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内	千口	千円	千口	千円
ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て	9	10,465	—	—

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	0.983	1	—	—

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月4日～2019年6月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月4日～2019年6月20日)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2019年6月20日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	当期末		
	口数	評価額	比率
ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て	千口	千円	%
	9	10,350	98.9
合 計	9	10,350	98.9

(注) 比率はグローバル・インカム・フルコース（為替ヘッジなし）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	当 期	未
		口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド		千口 0.983	千円 1

○投資信託財産の構成

(2019年6月20日現在)

項 目	当 期	未
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 10,350	% 98.8
マネー・マーケット・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	129	1.2
投資信託財産総額	10,480	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年6月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,480,305
コール・ローン等	128,410
投資証券(評価額)	10,350,895
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	1,000
(B) 負債	18,655
未払信託報酬	18,620
その他未払費用	35
(C) 純資産総額(A-B)	10,461,650
元本	10,519,017
次期繰越損益金	△ 57,367
(D) 受益権総口数	10,519,017口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,945円

<注記事項>

- ①設定元本額 10,000,000円
 期中追加設定元本額 519,017円
 期中一部解約元本額 0円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9945円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は57,367円です。

③分配金の計算過程

項 目	2019年3月4日～ 2019年6月20日
費用控除後の配当等収益額	64,602円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	3,496円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	68,098円
1万口当たり収益分配対象額	64円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2019年3月4日～2019年6月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	83,257
受取配当金	83,279
受取利息	1
支払利息	△ 23
(B) 有価証券売買損益	△114,662
売買損	△114,662
(C) 信託報酬等	△ 18,655
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 50,060
(E) 追加信託差損益金	△ 7,307
(配当等相当額)	(3,496)
(売買損益相当額)	(△ 10,803)
(F) 計(D+E)	△ 57,367
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 57,367
追加信託差損益金	△ 7,307
(配当等相当額)	(3,496)
(売買損益相当額)	(△ 10,803)
分配準備積立金	64,602
繰越損益金	△114,662

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

<参考> 投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	ブラックロック・グローバル・ファンズ-フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド-クラスIシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て
運用方針	<p>世界各国の様々な通貨建ての幅広い種類の債券やそれらの派生商品等に投資を行い、米ドルベースのトータルリターンを最大化をめざします。</p> <p>投資する債券は、非投資適格債も含まれます。</p> <p>株式やコモディティ等の資産にも投資することがあります。</p> <p>派生商品等への投資を行うことにより、ロング・ポジションとショート・ポジションの差額が外国投資法人の純資産総額を上回ることがあります。</p> <p>通貨の投資配分は、機動的に変化させます。</p> <p>組入外貨建資産に対し、原則として、為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	世界各国の様々な通貨建ての幅広い種類の債券やそれらの派生商品等
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各国の幅広い債券への実質投資割合は、総資産の最低70%以上とします。 ・ 資産担保証券およびモーゲージ証券への実質的な投資は、総資産の50%を上限に行うことが出来ます。
決算日	毎年8月31日
分配方針	原則として四半期ごとに分配を行う方針です。

ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスⅠシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て

「ブラックロック・グローバル・ファンズ・フィクスト・インカム・グローバル・オポチュニティーズファンド・クラスⅠシェアーズ・ディストリビューティングシェア・円建て」は、現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第29期》決算日2019年5月20日

[計算期間：2018年11月21日～2019年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第29期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第29期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率					
25期(2017年5月22日)	10,184		0.0		%		%	百万円 1,681
26期(2017年11月20日)	10,184		0.0		—		—	1,266
27期(2018年5月21日)	10,184		0.0		—		—	1,269
28期(2018年11月20日)	10,183		△0.0		—		—	1,882
29期(2019年5月20日)	10,183		0.0		—		—	1,464

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2018年11月20日	10,183		—		%		%
11月末	10,183		0.0		—		—
12月末	10,183		0.0		—		—
2019年1月末	10,183		0.0		—		—
2月末	10,183		0.0		—		—
3月末	10,183		0.0		—		—
4月末	10,183		0.0		—		—
(期末) 2019年5月20日	10,183		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

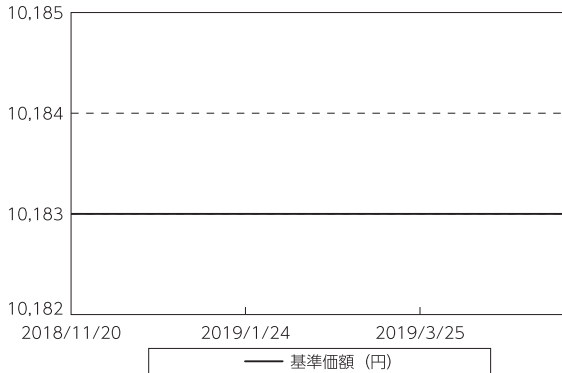
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年5月20日のコール・レートは-0.068%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。その結果、利子等収益は積み上がったものの、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は横ばいとなりました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われれます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

◎今後の運用方針

- ・コール・ローンおよびCP現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年11月21日～2019年5月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,183円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年11月21日～2019年5月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内	コマーシャル・ペーパー	千円 232,199,828	千円 232,599,835

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2018年11月21日～2019年5月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年5月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 1,399,996	% 95.6

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2019年5月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 1,399,996	% 95.5
コール・ローン等、その他	65,419	4.5
投資信託財産総額	1,465,415	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月20日現在)

項目	当期末 円
(A) 資産	1,465,415,191
コール・ローン等	65,418,280
その他有価証券(評価額)	1,399,996,911
(B) 負債	543,682
未払解約金	543,565
未払利息	117
(C) 純資産総額(A-B)	1,464,871,509
元本	1,438,552,736
次期繰越損益金	26,318,773
(D) 受益権総口数	1,438,552,736口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,183円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,848,959,925円
 期中追加設定元本額 1,374,000,391円
 期中一部解約元本額 1,784,407,580円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0183円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	350,007,595円
三菱UFJ 新興国通貨建て債券ファンド(毎月決算型)	2,280,337円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,874,002円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,048,688円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース>(毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	20,147,276円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	52,804,813円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>(毎月分配型)	635,856円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>(毎月分配型)	3,078,471円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	129,095,075円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース>(毎月分配型)	89,620円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>(毎月分配型)	1,033,322円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	212,322円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	16,402,315円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド(毎月分配型)	1,378,553円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,201,705円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	270,734円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	358,088円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	667,045円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	3,836,590円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	265,842円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,037,414円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	5,850,843円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	2,016,707円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	1,145,161円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	43,682,881円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,513,806円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	1,182,898円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	82,857,749円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>(毎月分配型)	847,016円

○損益の状況 (2018年11月21日~2019年5月20日)

項目	当期 円
(A) 配当等収益	△ 52,807
受取利息	5,192
支払利息	△ 57,999
(B) 保管費用等	△ 857
(C) 当期損益金(A+B)	△ 53,664
(D) 前期繰越損益金	33,882,688
(E) 追加信託差損益金	25,144,076
(F) 解約差損益金	△32,654,327
(G) 計(C+D+E+F)	26,318,773
次期繰越損益金(G)	26,318,773

(注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	600,566円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	992,946円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	1,193,379円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	88,852円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	990,674円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム (毎月分配型)	19,635,282円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり)	6,336,371円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし)	11,400,264円
三菱UFJ 米国リートファンドA<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,836円
三菱UFJ 米国リートファンドB<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	98,368円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	7,661,389円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,649円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	99,465円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	69,757円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	30,457円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (年2回分配型)	641,668円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,559,264円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	4,881,309円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	19,658円
ビクテ・グローバル・インカム株式オープン 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	19,658円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	491,449円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,828,976円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	7,717,476円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	211,113円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	1,936,118円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	5,504,257円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	13,128,307円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	2,424,660円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,340,694円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	1,611,189円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	6,722,976円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (毎月分配型)	13,206,980円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (年2回分配型)	2,304,081円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (年2回分配型)	2,664,317円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (年2回分配型)	421,681円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (年2回分配型)	961,645円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (年2回分配型)	608,110円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	734,038円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアルーブルコース> (年2回分配型)	601,281円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	1,506,013円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,388円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (毎月決算型)	5,144,832円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8,859,081円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	1,609,969円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	2,065,331円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	79,543円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	50,083円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (毎月分配型)	3,828,727円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (毎月分配型)	9,387,547円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3,545,187円

米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	8, 124, 755円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型)	2, 990, 177円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	3, 377, 211円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (毎月分配型)	8, 478, 079円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	4, 145, 749円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	8, 067, 104円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	3, 319, 056円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	20, 075, 917円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	1, 616, 484円
三菱UFJ / AMP オーストラリア・ハイインカム債券ファンド 豪ドル円プレミアム (毎月決算型)	5, 899, 118円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (毎月分配型)	10, 826, 836円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム (年2回分配型)	2, 026, 238円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	128, 363円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	79, 540円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	1, 375, 824円
PIMCO 米国バンクローンファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	698, 261円
マルチストラテジー・ファンド (ラップ向け)	491, 015円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	564, 702円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	89, 371円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ 債券バランスファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	983円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型> (3ヵ月決算型)	3, 063, 931円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	6, 324, 266円
三菱UFJ ターゲット・イヤール・ファンド2030 (確定拠出年金)	3, 228, 387円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9, 820円
スマート・プロテクター90 (限定追加型) 2016-12	6, 313, 826円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジあり)	19, 600円
米国政策テーマ株式オープン (為替ヘッジなし)	206, 110円
スマート・プロテクター90オープン	981, 933円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	383, 914円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	305, 382円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49, 097円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	3, 683, 229円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	17, 656, 128円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	5, 843, 481円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	25, 393, 755円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジあり) (年1回決算型)	36, 457円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87, 384円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9, 820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9, 820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9, 820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9, 820円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジあり)	9, 821円
北歐小型株ファンド (為替ヘッジなし)	9, 821円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9, 821円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9, 821円
Navio インド債券ファンド	296, 406円
Navio マネーボールファンド	5, 079, 595円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39, 351円
三菱UFJ / AMP オーストラリアRETファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	11, 293, 333円

マネーブールファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	9,985,986円
MUAMトピックスリスクコントロール (5%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	7,134,289円
MUAMトピックスリスクコントロール (10%) インデックスファンド (FOF s 用) (適格機関投資家限定)	34,070,036円
ピムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	11,784,347円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	10,766,608円
ピムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	14,313,901円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2020	15,653,542円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2020	248,414,023円
合計	1,438,552,736円